

## 学生の政治に対する意識調査 ～ 学生に対する効果的な PR 方法を考える ～

アンケート方法：インターネットの掲示板を利用

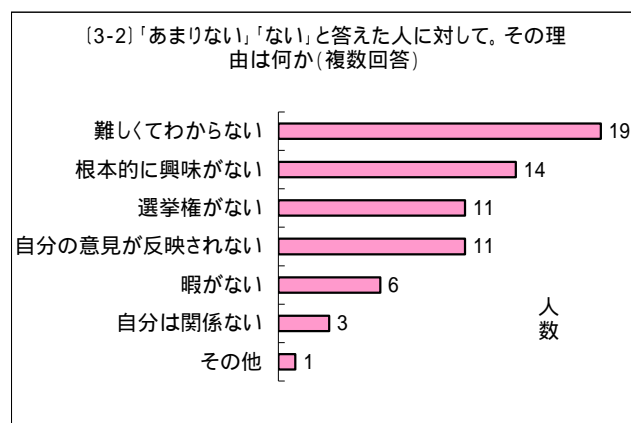
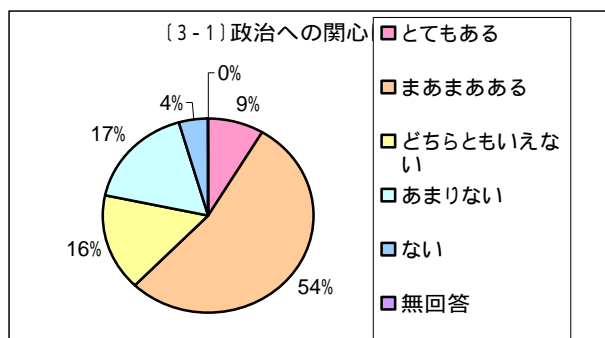
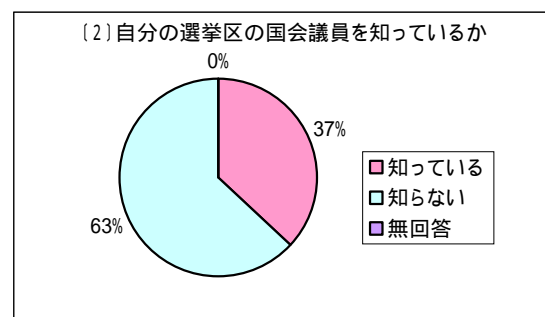
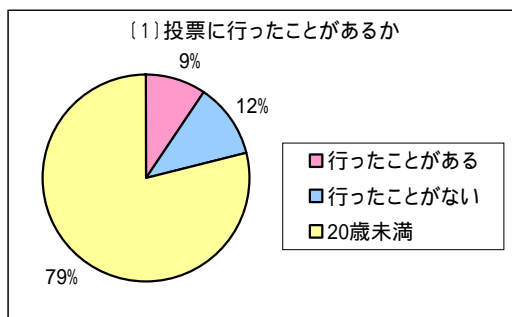
アンケート実施期間：2005年2月24日～3月3日の一週間

アンケート対象者：計138名（男性：34名、女性：104名）

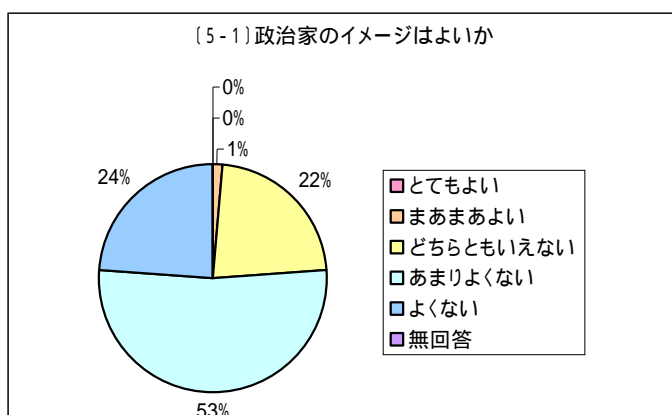
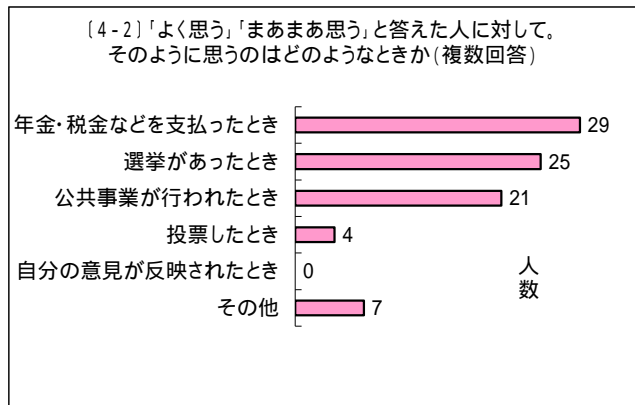
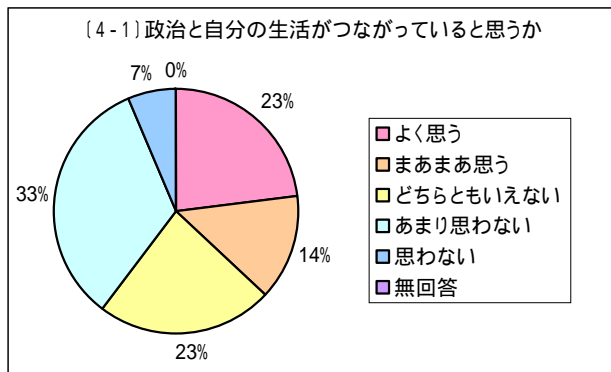
（大学1年：112名、2年19名、3年7名）

（18歳：12名、19歳：93名、20歳：24名、21歳：8名、24歳：1名）

### 調査結果



その他の具体例なし



- その他の具体例
- ・ 年金制度
  - ・ 二重国籍
  - ・ 外交
  - ・ 新しい法案の是非を問うとき
  - ・ 新制度による生活の変化
  - ・ 環境問題
  - ・ 行政裁判
  - ・ 政治家と話したとき

〔5-2〕政治家に対する具体的イメージ

**金と権力で全てを解決しようとする (18)**

- ・ 賄賂、国民のための政治をやらない。
- ・ 偉そうなこと言っているわりに、金銭面のトラブルなどの不祥事が多い。
- ・ 金に操られている。
- ・ 金持ち。
- ・ 権力ばかり固持しようとする。
- ・ ずる賢い、金と権力の亡者。
- ・ お金にしか興味がなさそう。
- ・ 金がらみで動くイメージがある。清潔感がない。
- ・ 金のために仕事をしている。実力よりコネで仕事につけるため仕事をする気がない。世襲色が強い・年功序列せいなので制度の革新が起こりにくい。そんなにお金もらえるほど立派な仕事してないのに税金で食っている。
- ・ 金で動く。
- ・ 裏金ばかり。税金荒らし。
- ・ 強い権力を持っている。
- ・ 贈収賄が日常的に行われている。

- ・ 人にもよるが、有名な政治家は金に汚そう。
- ・ 裏金が常にまとわりついている。
- ・ 金と権力目当て。
- ・ ちゃんと国民のことを考えている政治家、利益のことだけを考えている悪い政治家、の二種類がいる。

#### 私利私欲（14）

- ・ 国民の公僕とは思えない人が目立つ為。
- ・ 日本のためというよりも、自分の利益のことばかりのために働いている俗物。
- ・ 自分の肩書き・名誉のために働く。そのためなら嘘もつく。一番お金を無駄に使う(例えば海外出張はファーストクラスだろうし、ホテルはデラックスだろうし...)。議員年金で厚待遇。結局は秘書がやるから本人は何もしていない。「選挙」は名ばかり、一般人の票はあまり関係なく、つまり人を選べない。
- ・ 市民のためではなく自分達の利益を一番に考えている。
- ・ 自分たちに都合のいい政治をしている。
- ・ 自己中心的。
- ・ 頭が固く、柔軟性に欠け、国民のためというより自己満足の世界に浸るために議員をしているように見える人が多い。
- ・ 自分の意見ばかり言って人の話を聞かない

#### お金の無駄遣いをしている（9）

- ・ お金を沢山もらっているわりに成果を出していない人が多い気がする。
- ・ 効率悪い上に国民の金を無駄使い。
- ・ 中には税金を影で私用に使う最低な人もいる。
- ・ 横領したり、税金の無駄使いをしている。国会中に寝ている人を見るとそんな人に給料をあげたくない。
- ・ 地位を利用してお金を無駄に使っている。
- ・ ずる賢い、公金を使いすぎる。  
給料が高すぎる、国会で居眠りをする、低レベルな野次をとばす。

#### 汚職などで悪い、汚い、黒いイメージ（8）

- ・ 良いこと言いつつ悪いことしてそう。
- ・ 権限濫用、汚職のイメージがある。もちろん頑張っている議員もいると思う。
- ・ 腹黒そう。金に汚い。国民のことを考えてない。
- ・ 黒くて、わかりづらい。

#### 国民との距離が遠い気がする、民意を把握できてない（8）

- ・ 世間離れした感じ。
- ・ お金の感覚が国民と悪い意味でずれている。
- ・ 裏金、一般市民の考えや生活を把握していない、あまり自分とは関係のない遠い存在。

- ・ 本当の意味での市民というものに身近でなく、感覚が離れている部分がある。
- ・ 国民に対して思いやりがない。
- ・ 選挙の時だけ良い顔して当選すると国民と距離ができて別の世界の人間になってしまう。票につながる活動しかない、票につながらない活動は一生懸命しない、票第一主義者。一般企業、役所などとの癒着、天下り、議員年金など自分の利益を優先するため改革を行えてない。そもそも改革意識を持った議員が少数派に思える。

#### 言葉は上手いが実際の行動力は伴っていない(5)

- ・ マニフェストなるものを選挙の際つくったとしても、現実的に公言通りに行っているか疑問である。
- ・ 公約は分かるが、結果が伝わってこない。
- ・ 口だけの人がいる。
- ・ 嘘つき。

#### 何をやっているかわからない(4)

- ・ 普段どのような仕事をしているのかあまりよくわからない所が好ましくない。
- ・ 不鮮明。
- ・ 不誠実、不透明、勉強不足。

#### うさんくさい(4)

- ・ 信用できない。
- ・ 表に見えているだけが全てとは思えない。
- ・ 表面を取り繕っている感じ。裏があるように見え、政治に対するわかりにくさにつながっていると思う。

#### 野次がとんでいる(3)

- ・ 口げんかするおやじ。
- ・ 議会の様子をテレビなどで見ていると、国民の代表だと言うのにオトナとしても恥ずかしいような言動があまりに多く、見ていられない。

#### 居眠りしている(3)

- ・ 議会中に寝ている。70代80代の古い考えの政治家が牛耳っている。
- ・ 国会中に居眠りしていたのが印象的で、なまけているイメージが強い。

#### 別世界(3)

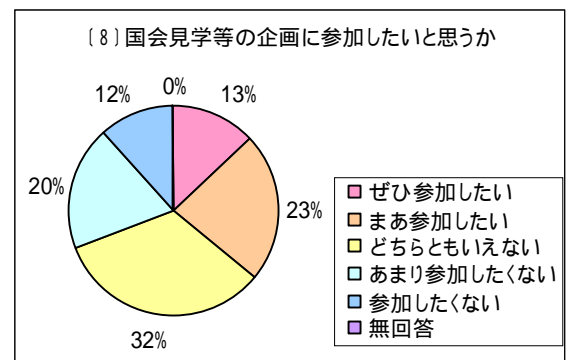
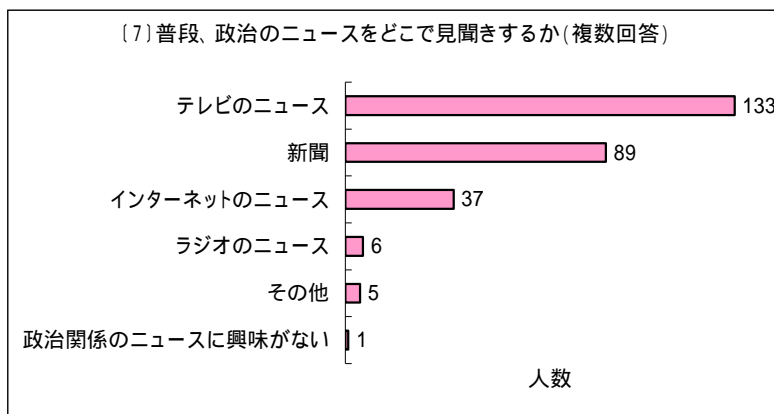
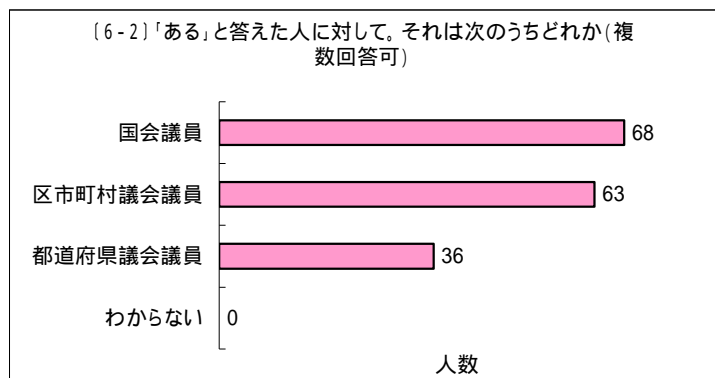
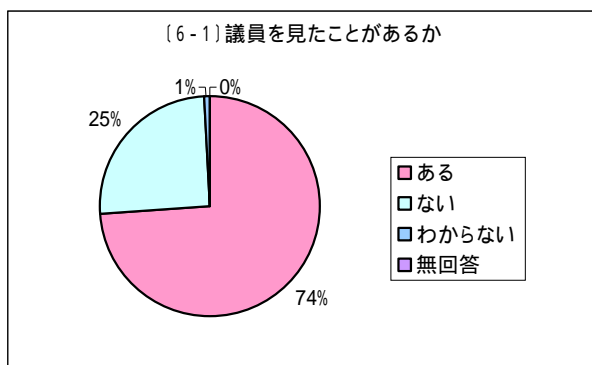
- ・ 別人、国会の人。遠い存在。

#### 対応が遅い(2)

- ・ 話し合いに時間をかけすぎて、必要なときに必要な措置がとられない。

その他

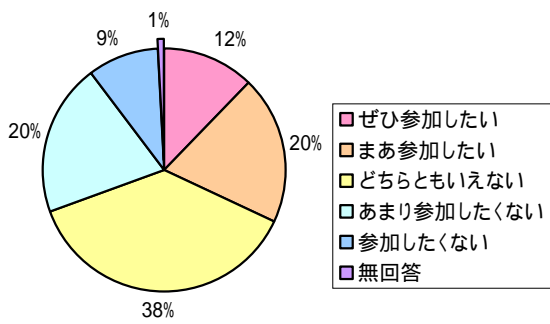
- ・ 選挙で燃え尽きてあまり政治政策には手をつけなそう。
- ・ 国会などで会議をしている。
- ・ えらい。
- ・ 上手く話しを進められない人がいる。
- ・ きっと私たちがテレビで見ている姿は彼らのごく一面であって、それ以外の場所では様々な攻防や紆余曲折があるのだろうな、と思う。
- ・ 全員ではないが、自分の意見を押し通そうとしている。偽善的なイメージ。
- ・ 老害。今の政治 = 茶番。
- ・ 国民を上を目線から見下している。
- ・ グローバルな視野が欠けている。
- ・ 人付き合いのプロ。
- ・ ともかくイメージ悪い。
- ・ 中途半端。
- ・ 頭がいい。



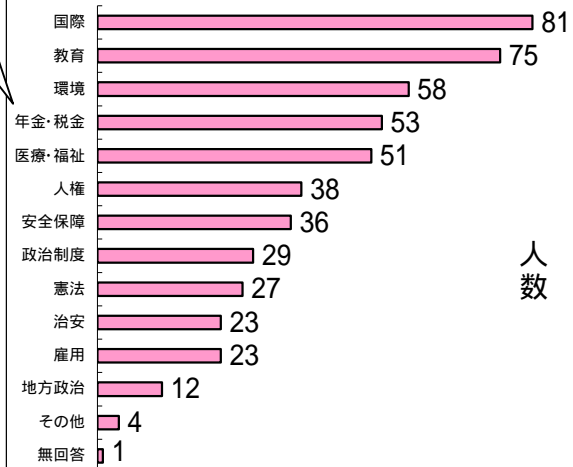
その他の具体例

- ・ スポーツ、食料関係、海外からの薬の制限、時事問題
- ・ 勉強会は何をするのかわからない。
- ・ テーマよりも雰囲気重視。

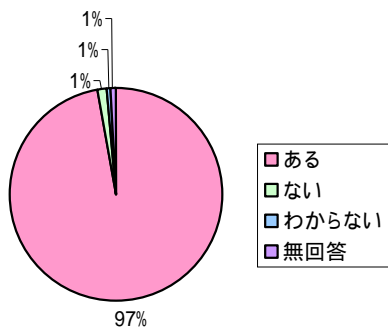
〔9-1〕セミナー型のイベントに参加したいと思うか



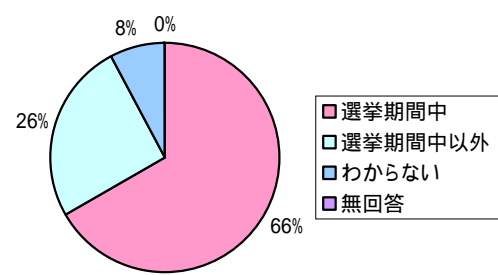
〔9-2〕どのようなテーマならセミナーに参加したいか(複数回答)



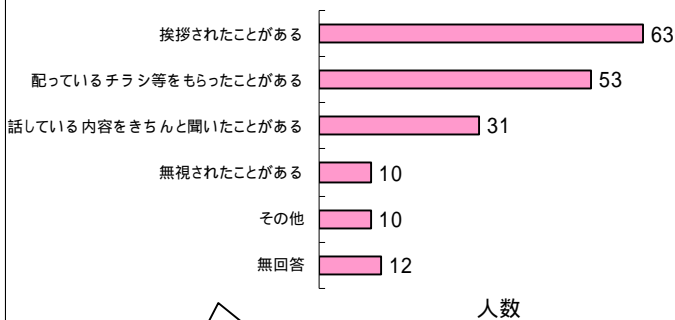
〔10-1〕街頭演説を見たことがあるか



〔10-2〕「ある」と答えた人に対して、見たことがあるのはいつか(複数回答)



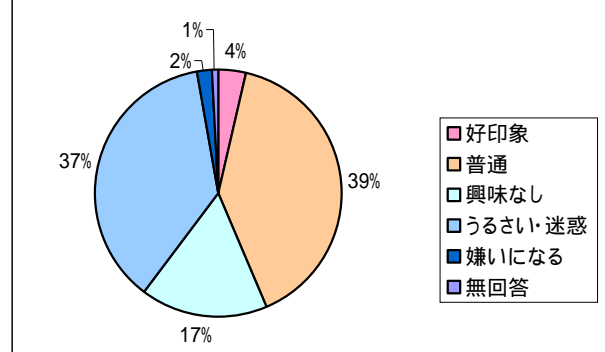
〔10-3〕「ある」と答えた人に対して、そのときに(複数回答)

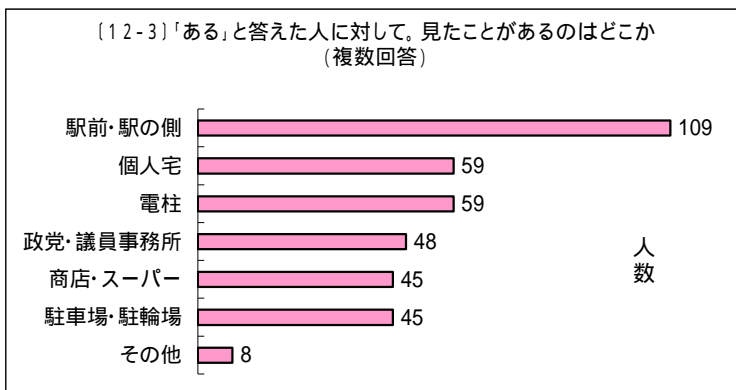
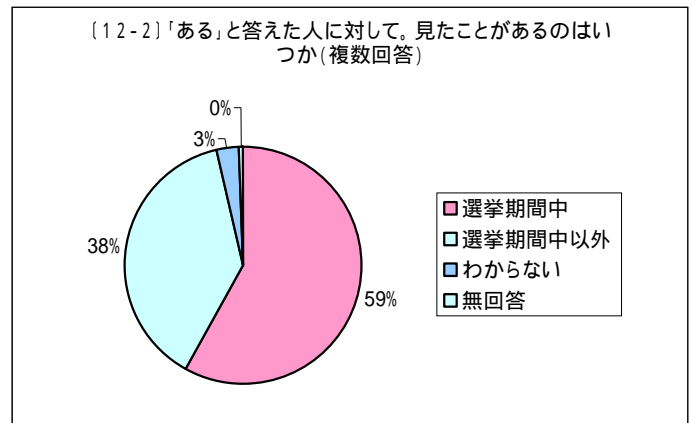
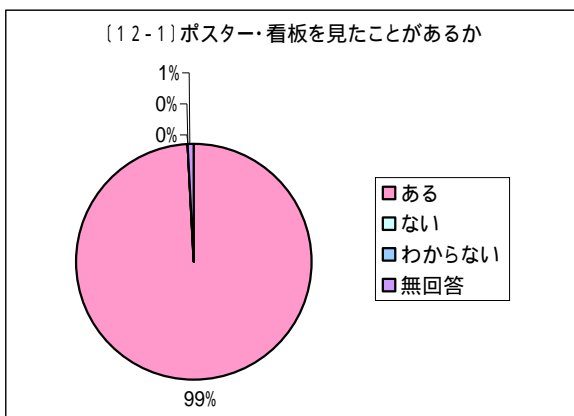
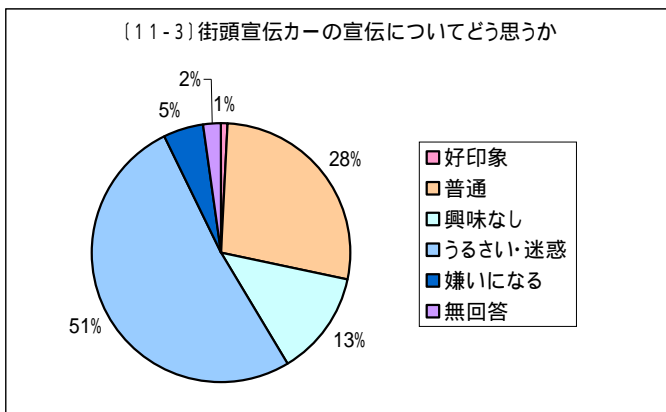
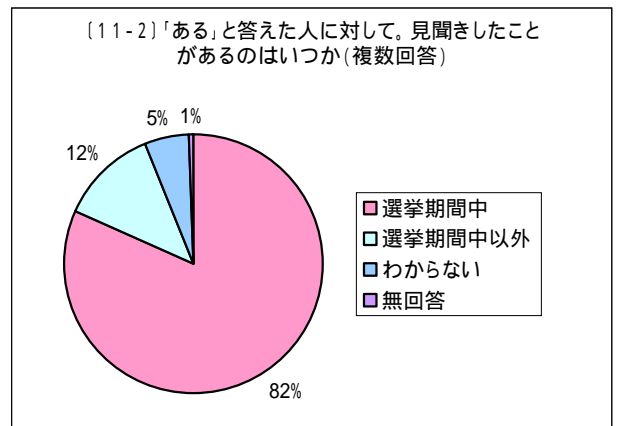
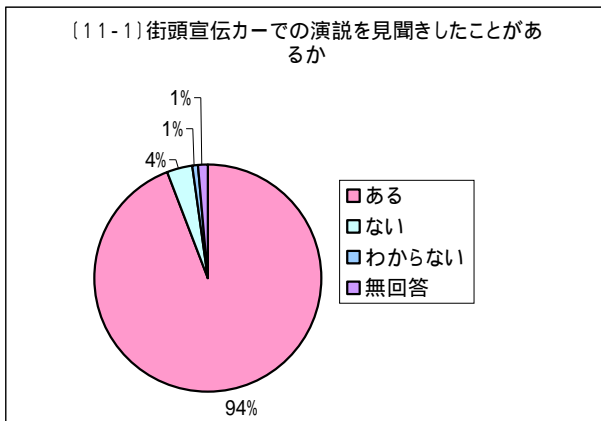


その他の具体例

- ・ 素通り(3)
- ・ 見かけただけ
- ・ 特になし
- ・ 真剣に聞かない

〔10-4〕街頭演説についてどう思うか





その他の具体例  
 ・ 小学校 ・ 公会堂  
 ・ 道の脇(2)

〔13〕自由記述

- ・ 私の住んでいる横浜市には「市長への手紙」という制度があるが、本当に市民の声が反映されているか疑問なのでまだ出したことがない。政治は国民のためのものなのだから、国民へのフィードバックが必要だと思う。また、年金未納問題が去年盛んに取り上げられていたが、最近の若者が未納の傾向にある1つの理由は年金や納税の仕組みがよく分からないからではないか。もっとわかりやすく、例えば「週間こどもニュース」のように国民に説明していただければ、納税率が上がると思う。
- ・ 街頭宣伝カーでの、住宅地での宣伝は迷惑だと思う。平日の昼間で、皆が起きていると思うかもしれないが、仕事が平日休みで寝ている人もいる。あの時は本当に、その場にあったハンガーを投げてやろうかと思うくらい不快で迷惑だった。騒音だ。『地域の皆様の為に』みたいな事を言っていた気がするが、それなら寝かせてくれ、と思った。
- ・ まだ20歳になっていないので有権者としての資格を持っていない為か、このアンケートを通じて自分がまだまだ政治に対して知識が無い事を痛感させられた。僕も政治関連の学部にも所属しているのもっと積極的に見聞の範囲を広げ、市民としての自覚も持つべきだと思った。
- ・ 前首相のような人でも政治家になれるのだからと思い、今まで日本の政治家に対する印象は悪かった。政治は授業で習えばおもしろいけど、演説などには興味なく、政治家の意見などにたいして関心のない自分も反省すべきだなあと、このアンケートに答えて思った。
- ・ 自分を含めて、学生は昔と比べて政治に対する関心が低くなっているように思えるので、何か良い解決策があればよいなと思っている。
- ・ 政治には今まで特に興味は持っていませんでしたが、これから20歳になり選挙だったり年金だったり自分に関わってくる事だと思っている。
- ・ あまり興味がなかったけれど、選挙権を持つようになり、少しは政治を知っておかなくてはという気持ちになった。時々、テレビでの国会中継を目にすることはあるが、感情的な口論としか見えないようなやりとりが目立っていて残念に思う。国民のことを第一に考え、尽力なさっている政治家も沢山いらっしゃると思うが、私たちがメディアから得られる情報の中では、あまりよい印象が持てないのが正直なところだ。
- ・ 大人になるにつれ政治に関心を持たなければいけないという気持ちはあるが、内容が難しくあまり理解できない。もっとわかりやすく説明してほしい。政治家の不祥事が多くて信用できない。
- ・ 街頭演説などは内容がつまらないし聞いている暇がない。改革の内容や実績を書いた紙などのほうがまだ見る気がする。若い世代の政治意識を高めるにはデザインを良くしたりその人達の利用するメディアから訴えたほうが良いと思う。クニミツの政という政治漫画が面白い。
- ・ 自分の選挙区の議員をあまり知らないの、二十歳が迫るにつれ、次第と関心がなくなっていった。
- ・ 現在の国会などの様子を見ると人の意見の批判は多くでるが、新たな具体案は出にくい。後ろでやじっているだけの議員に期待が持てない。
- ・ 私達一般人がもっと政治に興味をもてるように国が様々な企画をやってほしい。
- ・ 議員になるために莫大な資金がかかること自体、国民の政治への参加をさまたげていると思う。国の借金がかさんだり、年金制度などで国民が困ったときにはまず、不必要なまでに高額な政治家の給料をさげることを実行してほしい。
- ・ 議員は大金持ちで、一般人とはかけ離れて遠い存在のイメージがあり、しかも全く赤の他人だから、信用でき

るわけがない。現に法律を破って捕まる人もいる。そんな人たちが政治をやっているのだから、政治自体もやはり遠い存在であり、関与できず、興味も持てない。そんな知らない人に税金やらを払っている国民の人情をもっと認めて欲しい。しかし国会議員は世界と戦っているわけだから、絶対に大変な仕事だとも思う。その大変さすら国民は分かっていないのだから、もっと「大変なんです」と国民に投げかけてくれていい。その支えやエールとして税金を払おう。助け合いです。

- ・ 政治家が本当に日本の未来を考えていればもっとまともな国になっていると思う。
- ・ まだ選挙権を持っていないので自分の意見を持って表す場がない。興味はあるが深く考えていなかったけれど、二十歳になって選挙権を持って投票できるようになったら自分の市・県・国がどうなっていくのか、何をのぞむのかをしっかりと考えて必ず選挙に参加したいと思う。選挙の手伝いもする予定である。
- ・ まだ選挙権が無いせいか政治は自分の生活に直接結び付いていると考えにくく、興味もまだあまり無い。駅での街頭演説はともかく車での選挙活動はかなりの騒音で迷惑だと思し、そこまですることはないと思う。
- ・ 政治については全然興味が持てなく、ニュースも聞き流してしまいがちだったが、今年は20歳になり選挙権を持つので少しでも関心を持っていきたいなと思った。
- ・ 政治には非常に興味がありますが、自分の政治に関する知識があまりないので、様々な政治イベントに参加しても正しい判断ができるか不安なので、今は知識を選挙権が与えられるまでに身につけ、政治に積極的に参加したいと考えている。
- ・ 私は軍事情勢に大変興味がある。軍事分析が国際政治を読み解くポイントではないかと考えている。今年は戦後60年ということもあるので、軍事情勢や軍事関係がメディアに大きく取り上げられて欲しいと思う。
- ・ 国会議員を減らしてほしい。
- ・ NHKと朝日新聞間の問題を深く知りたい。政治的圧力はあったと思う。
- ・ 政治について就職活動で少しですが知り始めた。
- ・ 日本の政治は閉鎖的で、国民の関心が向かないのも仕方がない。
- ・ 興味のある人は多いと思うので、勉強会などどんどん実施していくと面白いと思う。
- ・ 政治を国民にとってより身近な物にすることが重要であると思う。そのためには、政治をテーマにしたテレビ番組を増やすことなどが必要になってくると感じる。
- ・ 牛歩などくだらないことは改善すべきであると思う。
- ・ 政治関係に関しては、国内のことに関して言えば、メディアでも取り上げられている年金問題に関心を寄せているが、国際的な、対北朝鮮外交やアメリカとの関係、今後のイラク問題と日本との関わりについて、さらには、憲法9条改正などについては関心をもって見ている。
- ・ もっと身近な政治がいい。
- ・ 政治家に対しての期待度はかなり低い。政治家は金で動き、国民のためには真に動かないというイメージを持っている。政治家が動くのを待つより、自分らが行動を起こすほうが規模は小さくなるが、効果的で、早いと思う。
- ・ 法学部生なので政治には多少興味を持っているつもりでいたが、自分の選挙区の衆議院議員は誰と聞かれると全然わからなかった。もうすぐ投票できる年齢になるので、演説に耳を傾けたり、せめて自分の選挙区の議員の名前くらいは覚えたいと思う。
- ・ 20才になったので今度の選挙には行きたい。選挙期間以外でも街頭演説をしている議員さんには、頑張っ

ほしいと思うし、好感が持てる。

- ・ 政治とかもう少し勉強しとけば良かった。選挙など一票で変わったりするものかなぁなんて思った。
- ・ 政治は私たちが生活するうえでなくてはならないものなのに、実際政治に関しての興味、意識は少ない。もっと国民向けの、子供でも興味を示せるような、市民参加型の政治を展開してほしい。
- ・ 自分はあまり政治について詳しくなく、また社会について勉強不足であるため、あまり偉そうな事は言えない立場だが、一つだけ言いたい事がある。TVなどで国会の様子を見る機会が多々あるが、その様子を見てみるとどうも子供の喧嘩をしているだけのような気がしてならない。確かにブラウン管から流れ出ていることのみが国会の現状ではないことはわかっている。しかし、どうも議員の皆さんはご自分の意見を曲げるのを嫌い、ご自分とは違った党の方の意見は受け入れがたい、というような雰囲気を感じてならない。もっと柔軟性に富んだ話し合いをして欲しいと思う。
- ・ 自分の選挙区からは菅直人氏が選出されている。年金未納問題のとき、市役所が引き合いに出され、彼の妻に罵られていた。私が生来住んでいる土地ということもあり、ひどく不愉快だった。彼の地元であるにもかかわらず、政治家と地域とは歩み寄れるものではないのだな、と感じてしまった。しかし、私は地元の公務が好ましいわけでもない。昔から迷惑駐輪がしばしば問題視される地域であった。それは駐輪場が無いためであり、また、住宅地から駅前の商店街まで距離がある、という地理的な理由でもあった。主婦が晩御飯の材料とトイレトペーパーを歩いて運ぶには、正直厳しいだろう。しかし、あるときを境に、駅前の駐輪場が整備され、そこに駐輪を許可されるためのステッカーが抽選で購入できるような仕組みになってしまった。年間3000円。そして、毎年その抽選に外れる。家族4人のうち、必ずひとは当選しているのが、また不思議だ。しかし、自転車に乗らないわけにいかない人間が私をはじめ多数いるため、別の有料駐輪場(市営なのになぜかこちらは3000円/4ヶ月)に登録するか、こっそり目立たない場所に駐輪している(撤去料3000円)。市長が5期20年は長すぎる。そしてこの不満を吐き出す術を、私は知らない。誰に何を言えば言いのだろうか。都知事やら総理やら国会議員の話になると、もうよくわからない。イラク派兵も郵政民営化もその他もろもろ、明確なものが何も無いように思える。政治家そのものの存在や人間性すら、明確ではない。人間に見えない。彼の言葉や業績だけがひとり歩きする、ただの存在。そして、きっとテレビに映らないどこかでは彼は人間で、それなりの紆余曲折があったのだろう、と勝手に私は思ってしまう。会議室か首相官邸か料亭か、どこかは知らないけれど。たぶん、平和で健全で安定した政治が当然だと思われるから、混乱、不健全、不安定な政治しか見つけられないのだと思う。責めることはあっても、きっと誰も褒めない。
- ・ 政治には興味があるけれど、日常ではなかなか関わるチャンスが少ないので、せめてこれからはニュースを気に掛けるようにしよう、と思うきっかけになるアンケートだった。

## 考察

今回は、学生に対してより効果的な議員・事務所PR活動を模索することが目的であるので、アンケート結果〔8〕～〔12-3〕までを中心に私たちの考えをまとめた。

### 〔8〕〔9〕について

参加の意志がある人が4割～5割を占める。国会見学やセミナーを開いて認知度を上げるのは最初の一步としてよい。もっと盛んに行っていくべき。自分の選挙区の議員を知らない人の方が多いのだから、アピールした者勝ち

だろう。国会見学やセミナーの広報を行うことで、政治の不透明さの解消、信頼の醸成、新たなネットワークの構築につながる。テーマは、各々の地域に特化した問題より国レベルの大きな問題により関心がある傾向。他事務所と協力したり、地元の団体と協力したりしてもっと規模の大きい、多角的な視点を持った勉強会を行えば、大きな企画となり、人も集まる。その例として、花輪ともふみ東京都議会議員のインターンがやっていたような、学生を集めるタウンミーティングがある。春と夏に来るインターンを中心に企画すれば、自然に学生中心の企画になるはずである。花輪事務所を参考にするなら、県連も絡めて、他の国会議員や県議会議員を呼んでタウンミーティングを催すのもよい。しかし、まずはインターンが友人に声を掛けるなどして20~30人規模から始めた方が準備する側としてはやりやすいかもしれない。

その結果、私たちは「これからの日本を考える会 若者・学生版」という企画を挙げたい。

先日はPEEKS 会員を対象に、日本の少子高齢化と財務関係を中心にした会合を開いたが、それを若者・学生を対象として行おうというものである。

テーマとしては、学生が特に関心を持っている、日本と諸外国との関係や、これからどうなるかわからない年金制度改革についての説明、越谷・草加を含めた五市一町のごみ処理と国の環境問題を結びつけた内容などはどうだろうか。

代議士がパワーポイントを使いながら説明するのもよいが、それではコミュニケーションがとれないので、畳敷きの部屋(公民館の座敷など)を利用したり、会議室で丸くなって座ったりなどして、代議士と話しやすい形の座談会にする。説明時間だけでなく、質問の時間も多く設ける。

インターンが友人を集める程度でも、20~30人は集められるのではないか。国政のことに興味を持ってもらう目的であれば、これでも構わないように思う。ただ、問題はやはり開催場所。越谷にどれくらいの人に来てくれるか、である。その場合は、議員会館の会議室を借りる形になるだろうか。ただ、そうするとなんとなく難しい印象のある会になってしまうかもしれない。

地元の学生を対象とすると、文教大学生・獨協大学生になるだろうか。大学近くにビラを貼ることが可能ならば、ビラ貼りと共に大学の側でビラ配りをするのが、一番有効だろう。宣伝カーでの宣伝は、昼間大学にいる学生には無意味であるし、宣伝カー自体の印象も良くない。駅立ちの際にその旨のビラを配るのは、もらってくれるのが学生であるとは限らないことが難点。

なお、国政に対する学生の理解を深めることで政治への関心、ひいては地元選挙への関心を持ってもらうためには、与野党が連携してタウンミーティングを開けば、注目の集まる会が開催できると思う。が、現実的には困難だろう。

## 〔10〕～〔12〕について

街頭演説はほとんどの人が見たことがあるので、認知度を上げるにはよいと思われる。しかし忙しい朝に内容をきちんと聞く人は少ない。また、演説を不快に思う人が4割弱もいる。自分を不快させる演説をする人に投票するだろうか。なにか対策を練る必要がある。具体的には、簡潔・端的な内容しか演説できない点を逆手に取り、そこで誰にでもわかるレベルで話を進めることではないか。セミナーの宣伝などをして、話しの続きが聞けることを期待させることもできる。

街頭宣伝カーでの広報も大方耳にしたことがある。しかし、街頭演説以上にうるさいと感じるようだ。また、中身のない演説と捉えられてしまいがちでもある。議員の姿を直接見ることもできないので、普段の議員の仕事

をアピールするには街頭演説の方が効果的だろう。

ポスター・看板を目にしている人は多い。視覚的にインパクトのあるものを作り効果的な宣伝ツールにしていければよいのではないか。

これらに加えて、現実的に利用可能な宣伝ツールとしてインターネットが上げられる。しかし、HPなどは相手からのアクセスがなければ見てもらえないものである。従って、学生にPRするには、まずは国会見学やセミナーといったイベントに参加してもらって、その資料にHPアドレスを載せたり、その場で参加者のメールアドレスを聞いて後日メールマガジンを送ったりする方法になるのではないかと思われる。

### 全体を通して

政治・政治家に対する様々なイメージは、私たちがインターンをしている上で感じるものとは異なる。それはやはり、結果にも現れているように政治が国民にとって身近とはいえないからではないだろうか。私たちの生活が成り立っているのは、政治に関わる人がいて、その人たちの働きのおかげであるのだが、私たちはそのことを当たり前と思い忘れがちなのかもしれない。

また、国民の多くがマスメディアを通して政治に触れる。これは多かれ少なかれ色眼鏡をつけた誰かの視点であり、断片的でもあるため捉えにくい。こうしたことを解消するためには、まず、政治とは何なのか、議員・スタッフはどういった活動をしているのか、を知ってもらう必要がある。私たちは、知ってもらうにはセミナーやタウンミーティングが効果的だと考える。親しみ易い話題を選び、丁寧に説明することが市民から信頼を得ることにつながっていく。国民に見える形でのそういったパフォーマンスが重要であろう。